

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	国語Ⅲ（機械系）	
科目基礎情報							
科目番号	0021		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	創造工学科（一般科目）		対象学年		3		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	『精選現代文B』（筑摩書房）／参考図書は適宜紹介する						
担当教員	夢沼 正美						
到達目標							
1、論理的な文章について、その論理の展開や要旨を捉えることができる。 2、文学的な文章について、その登場人物、情景、心情などを捉えることができる。 3、語句の意味、用法を理解し、文体や修辞などの表現上の特色を捉えることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
1、論理的な文章について、その論理の展開や要旨を捉えることができる。		論理的な文章について、その論理の展開や要旨を的確に捉えることができる。		論理的な文章について、その論理の展開や要旨をある程度の確に捉えることができる。		論理的な文章について、その論理の展開や要旨を的確に捉えることができない。	
2、文学的な文章について、その登場人物、情景、心情などを捉えることができる。		文学的な文章について、その登場人物、情景、心情などを的確に捉えることができる。		文学的な文章について、その登場人物、情景、心情などをある程度の確に捉えることができる。		文学的な文章について、その登場人物、情景、心情などを的確に捉えることができない。	
3、語句の意味、用法を理解し、文体や修辞などの表現上の特色を捉えることができる。		語句の意味、用法を理解し、文体や修辞などの表現上の特色を的確に捉えることができる。		語句の意味、用法を理解し、文体や修辞などの表現上の特色をある程度の確に捉えることができる。		語句の意味、用法を理解し、文体や修辞などの表現上の特色を的確に捉えることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		近代以降の様々な文章や作品を読解し鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、人生を豊かにする態度を育てる。また、言語文化に対する関心を深め、言語感覚を豊かにし、積極的に国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
授業の進め方・方法		基本的には講義形式の一斉授業の形態を取るが、必要に応じて意見交換や討論の時間を設定する。評価については、中間試験40%、定期試験40%、提出課題等20%の割合で評価する。合格点は60点である。なお、前期成績及び学年末成績が60点未満の場合は、再試験を実施することがある。但し、再試験を受けた場合の成績は、前期成績及び学年末成績とも、60点を上限とする。					
注意点		教科書、ノートは毎時間、国語便覧、国語辞書等は、必要に応じて適宜準備をする。授業で扱う教材については、必ず授業前に目を通しておき、授業後は教授された内容を確認しながら、再度教材にあたっておくようにすること。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 論理的表現（評論）を読む 「ふわふわ」（鷗田清一） 第1段落		授業の目的・方針等を理解する。 語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。		
		2週	「ふわふわ」 （鷗田清一）		文章を読んでもものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。		
		3週	「ふわふわ」 （鷗田清一）		文章を読んでもものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。		
		4週	「ふわふわ」 （鷗田清一）		文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。		
		5週	「科学・技術と生活空間」 （村上陽一郎）		語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。		
		6週	「科学・技術と生活空間」 （村上陽一郎）		文章を読んでもものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。		
		7週	「科学・技術と生活空間」 （村上陽一郎）		文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。		
		8週	中間試験		これまでの授業内容を確認する。		
	2ndQ	9週	文学的表現（小説）を読む 余裕派及び夏目漱石について		余裕派及び夏目漱石について理解することができる。		
		10週	『こころ』（夏目漱石）		文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。		
		11週	『こころ』（夏目漱石）		文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。		
		12週	『こころ』（夏目漱石）		文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。		
		13週	『こころ』（夏目漱石）		文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。		

後期		14週	『こころ』（夏目漱石）	文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。	
		15週	『こころ』（夏目漱石）	文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。	
		16週			
	3rdQ	1週	『こころ』（夏目漱石）	文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。	
		2週	『こころ』（夏目漱石）	文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。	
		3週	『こころ』（夏目漱石）	文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。	
		4週	『こころ』（夏目漱石）	文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。	
		5週	『こころ』（夏目漱石）	文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。	
		6週	『こころ』（夏目漱石）	文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。	
		7週	『こころ』（夏目漱石）	文学的な文章について、それを展開する上での語句の意味、用法を的確に理解することができるとともに、登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。	
		8週	中間試験	これまでの授業内容を確認する。	
		4thQ	9週	論理的表現（評論）を読む 「『自然を守る』ということ」（森岡正博）	語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。
			10週	「『自然を守る』ということ」（森岡正博）	文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。
			11週	「『自然を守る』ということ」（森岡正博）	文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。
			12週	「『自然を守る』ということ」（森岡正博）	文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。
			13週	「リスク社会とその希望」 （大澤真幸）	語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。
			14週	「リスク社会とその希望」 （大澤真幸）	文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。
			15週	「リスク社会とその希望」 （大澤真幸）	文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。
			16週		

評価割合			
	中間・定期試験	課題	合計
総合評価割合	80	20	100
一般的能力	80	20	100